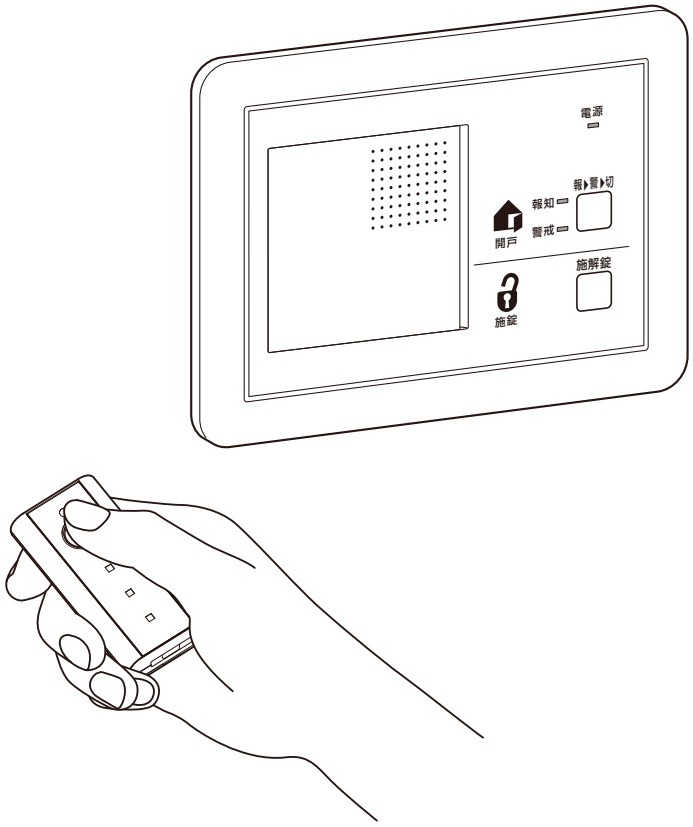
お施主さま用

システムキー

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目次

	ページ
■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	2·3
■特に注意していただきたいこと	4·5
■各部の名称と主な機能説明	6
■ご使用の前に実施していただきたいこと 1. リモコンキーを登録する 2. コントローラーユニットを登録する	7
■使い方 1. タッチボタンで解錠したい（タッチモード） 2. タッチボタンで施錠したい 3. ノータッチで解錠したい（ノータッチモード） 4. リモコンキーで操作したい 5. シリンダーやサムターンから操作したい 6. コントローラーユニットなど室内から操作したい 7. シークレットスイッチから解錠したい 8. シークレットスイッチから施錠したい 9. 自動施錠の ON/OFF と認証範囲の広い / 狭い、タッチ / ノータッチを切替えたい 10. リモコンキー置忘れお知らせ機能について	8 9 10 11
■コントローラーユニットの設定方法、使い方 （シークレットスイッチ暗証番号登録方法について） （報知設定、警戒設定について）	12 13
■リモコンキーの登録抹消と追加 1. 登録データを抹消したい 2. リモコンキーを追加したい 3. リモコンキー取扱い上のお願い事項について	14
■リモコンキーの電池交換について 1. リモコンキーの電池を交換したい 2. リモコンキーの電池交換時期を知りたい 3. リモコンキーの電池が切れたときは	15
■キー付きリモコンの使い方	16
■防犯機能について知りたい	
■お手入れ方法	
■こまったときには 1. 故障かな？と思ったら 2. ドアのブザー音と LED 表示について 3. コントローラーユニットのブザー音と LED 表示について 4. リモコンキーのランプ表示について	17 18 19
■商品仕様	20
■アフターメンテナンスについて	21
■商品保証について	22

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のため、必ずお守りください。
「システムキー」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。もしこの取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、株式会社 LIXIL およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書に記載してある注意事項が、すべての危険を含んでいるわけではありません。したがって、「システムキー」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3. この取扱い説明書についての質問又はより詳しい情報が必要な場合は、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では「システムキー」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

この「取扱い説明書」では、危険度（又は事故の大きさ）にしたがって、次の 3 段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意　味
⚠警 告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
⚠注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

（安全のため、必ずお守りください）

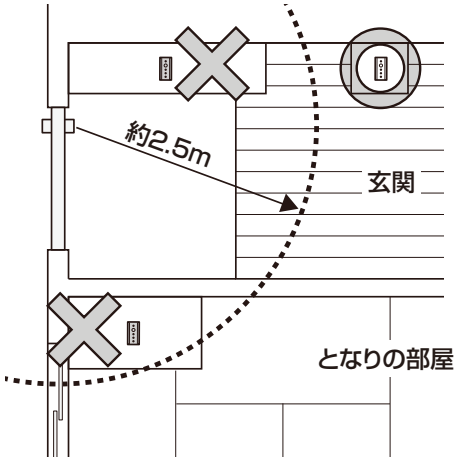
⚠警　告

●心臓ペースメーカなどの植込み型医療機器を装着されている方は、ドアのリーダーからの電波が植込み型医療機器の作動に影響を与えるおそれがありますので、認証または登録モード中はリーダーの（）マークから 22cm 以内に植込み型医療機器が近づかないようにしてください。

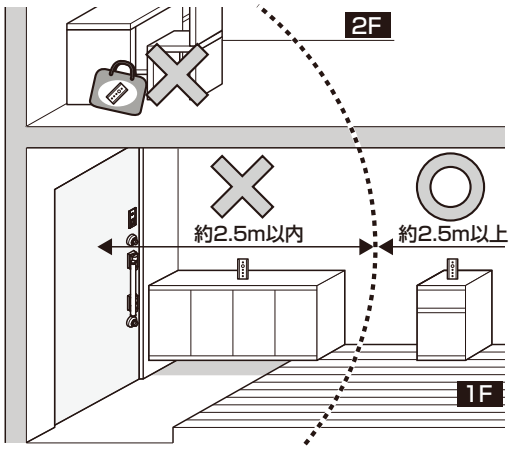
⚠注　意

●リモコンキーを玄関ドア付近に放置しないでください。タッチボタンを押し、解錠（施錠）が行なわれる場合があります。リモコンキーの保管は、玄関ドアから 2.5 m 以上離れたところにしてください。（リモコンキーの電源が ON の場合）

※現場環境によって、安全な保管距離（2.5m）は前後する場合があります。



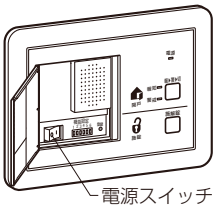
※となりの部屋でも影響を受けます。



※特に2F で保管する場合は注意してください。

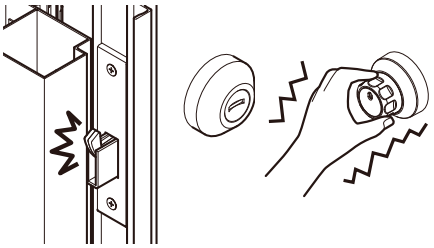
●サムターンの作動途中で停電となった場合は、手動でサムターンを回し完全に施錠、または解錠してください。動作途中で停止すると意図しない状態になっている場合があります。（動作途中でサムターンが停止するとサムターンが固く、回し難くなる場合があります）

●機器に異常が発生したら電源スイッチを切ってください。
発熱、発火の原因になることがあります。



●分解や修理、改造を行なわないでください。
感電によりケガをするおそれがあります。また、本機器は総務省の技術基準に適合しており、改造すると法律により罰せられることがあります。

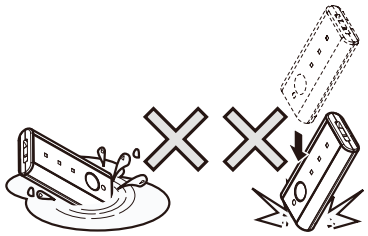
■お願い



●動作中にサムターンにふれたり、ドアを開けたりしないでください。錠が枠に当たりキズが付くおそれや一時的にサムターンが固くなることがあります。

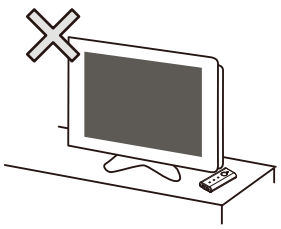
●停電時や故障など、万が一の事態に備えて、カギ（●━）も携帯するようにしてください。
（キー付きリモコンの場合は、専用の非常用キーをリモコン本体に収納し、携帯してください。→ P.11）

●故障の原因となりますので機器全般において以下の使用方法をお守りください。
（1）機器に水をかけないでください。
（2）ストーブなど高温の物を近づけないでください。
（3）加湿器など湯気の出る物を下に置かないください。



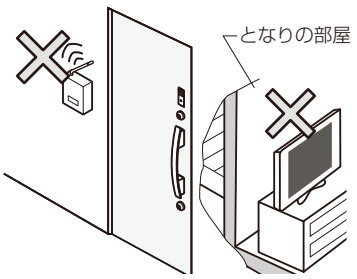
●リモコンキーについては、次の使用方法も合わせてお守りください。破損や故障の原因になります。
（1）落下などによる衝撃や強い力を加えないでください。
（2）水の中に落とすなど水没させないでください。
（3）窓際や車のダッシュボードの上など高温となる場所に置かないでください。

■ご使用上の注意事項について



●リモコンキーをテレビやパソコンなど電磁波を発する機器の近くには置かないでください。電池寿命が短くなります。

●次の場合、機器間の電波通信ができず、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
・玄関ドアやコントローラーユニットの近くにパソコンやテレビなど電波ノイズを出す機器や無線通信式の電化製品がある場合。
・住居の近くに無線局や工場など強い電波やノイズを出す設備がある場合。
・コントローラーユニットと玄関ドアの間がスチールキャビネットなど金属製品でさえぎられている場合。
・無線通信機器（携帯電話、無線機など）と一緒にリモコンキーを携帯した場合。
・リモコンキーを金属ケースなど電波が通り難い材質でおおった状態の場合。



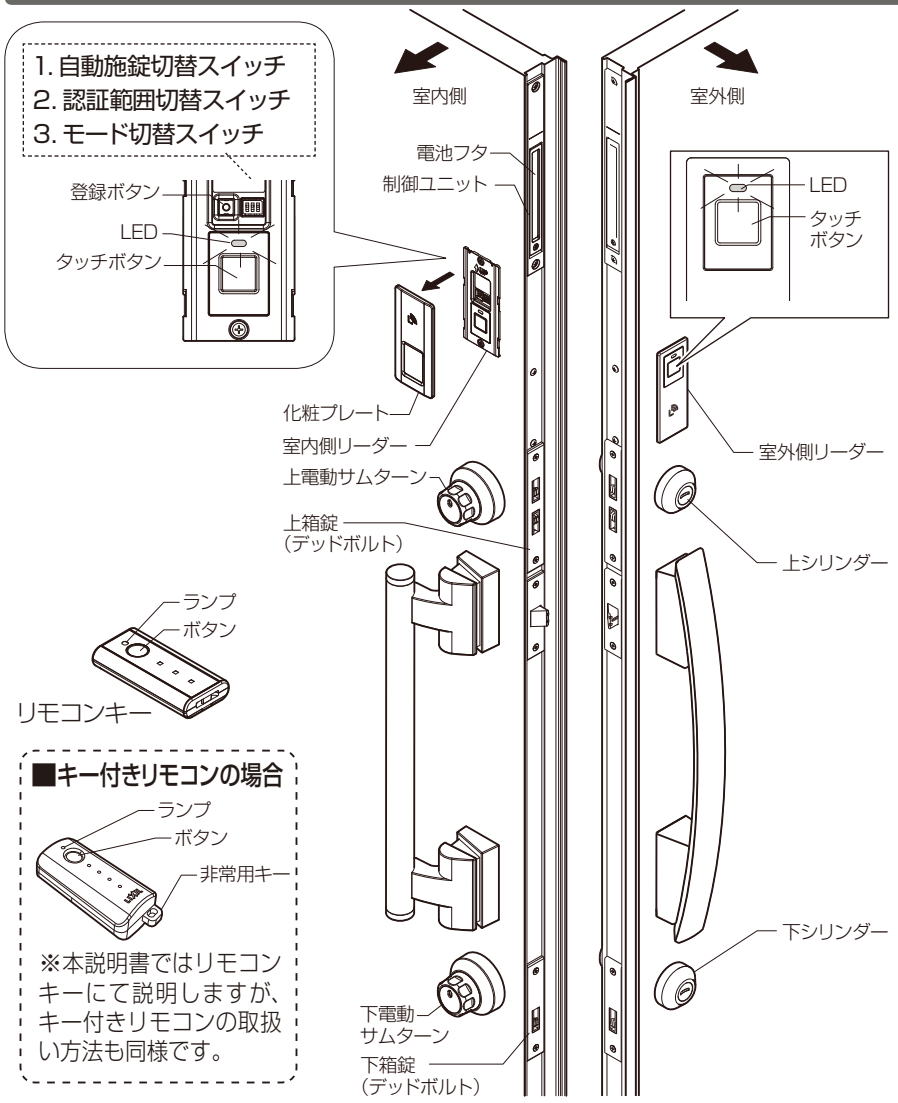
●自動施錠 ON の場合、リモコンキーで解錠した後は自動施錠されます。帰宅時など、荷物と一緒にリモコンキーを室内に置いて、もう一度外に出ないようにしてください。
ドアが閉まり、しめ出されるおそれがあります。

●ドアが閉まりきらないなどにより施錠できない場合がありますので、外出の際は、LED やブザー音などで施錠したことをご確認ください。

各部の名称と主な機能説明

※この取扱い説明書に掲載されている絵は、特別な記載が無い限り、右吊元の絵になります。

システム全体の名称

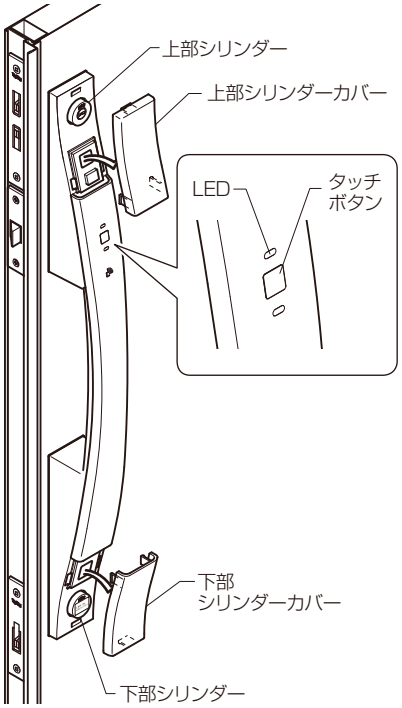


■キー付きリモコンの場合

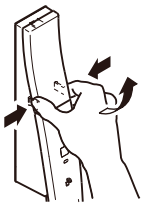
※本説明書ではリモコンキーにて説明しますが、キー付きリモコンの取扱い方法も同様です。

【S型ハンドルの場合】

リーダーはハンドルに内蔵されています。

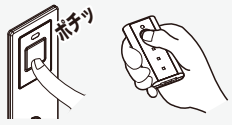


■シリンダーカバーの外し方



シリンダーカバーのハンドルに近い部分を軽くつまんで引っ張ると外れます。(下部シリンダーカバーも同様です。)

リモコンキーを持ってタッチボタンをタッチしたり、リモコンキーのボタンを押すと錠の操作(施解錠)ができます。
→(P. 8)



リモコンキーを持ってドアに近づくだけ、ノーアクションで解錠するノータッチモードにできます。
→(P.9)

リモコンキーで解錠したあと、ドアを開閉すると自動施錠します。
→(P.8)

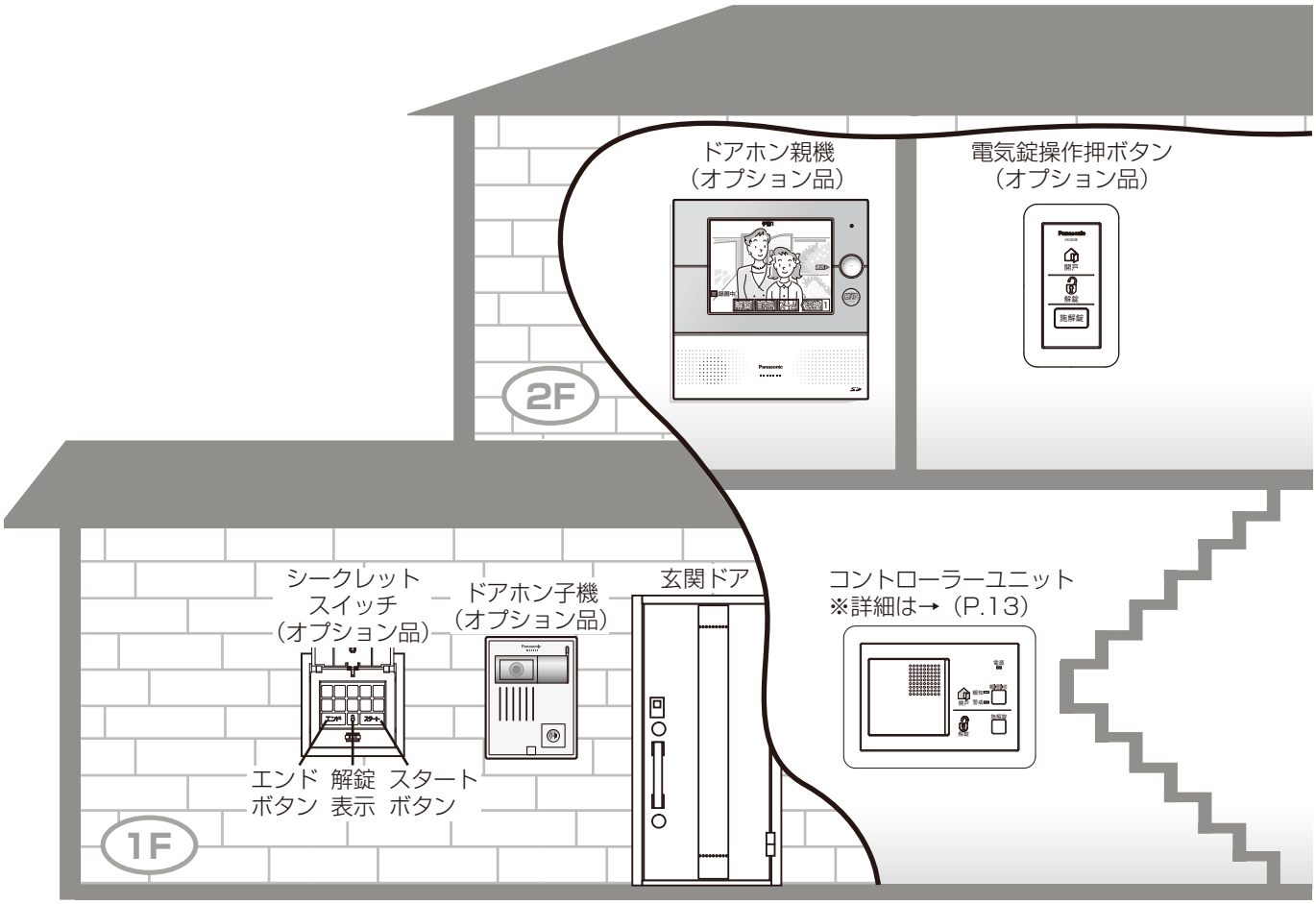
リモコンキーの電池が切れても密着認証により解錠できます。
→(P.15)

自動施錠しない『自動施錠 OFF』に切替える事ができます。
→(P.11)

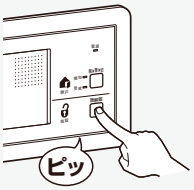
リモコンキーの追加登録や登録データの抹消ができます。
→(P.6･14)

リモコンキーで解錠したあと、しめ忘れ防止機能によりカギのかけ忘れを防止します。
→(P.8)

不正解錠防止機能やセキュリティサムターンにより、ピッキングやガラス破り、サムターン回し対策ができます。→(P.16)



コントローラーユニットや電気錠操作押ボタン（オプション品）などから錠の操作ができます。
→（P.10）

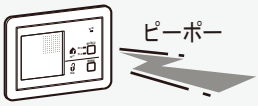


コントローラーユニットや電気錠操作押ボタン などでドアの状態を確認できます。
→（P.13）

電気錠対応のドアホン（オプション品）から錠の操作ができます。

ドアが開いた事を報知音でお知らせする設定にできます。→(P.13)

電気錠以外の方法で解錠されると警報音が鳴る設定にできます。
→（P.13）



シークレットスイッチ（オプション品）で暗証番号を入力して解錠できます。→（P.10）
（施錠時は暗証番号の入力が不要です。）
→（P.11）

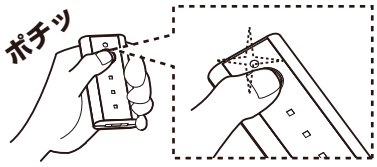
ご使用前に実施していただきたいこと

1 リモコンキーを登録する

ご使用の前に次の手順の通りに登録してください。
登録したリモコンキー以外は使用できません。

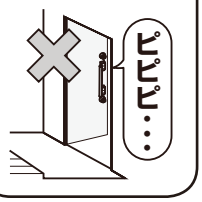
1登録したいリモコンキーをすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）
※新たに1個でも登録するとそれまでの登録データが全て消去されるため、今まで登録されていたリモコンキーも再登録しない限り使用できません。

リモコンキーのボタンを押してランプが点灯する（電源がONになっている）事を確認します。
※ボタンの長押し(約3秒以上)で電源ON/OFFします。

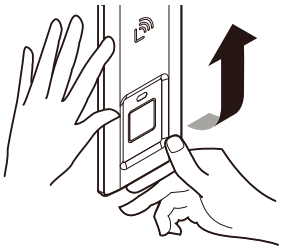


ドアを閉め、施錠します。

解錠またはドアが開いていると登録できません。

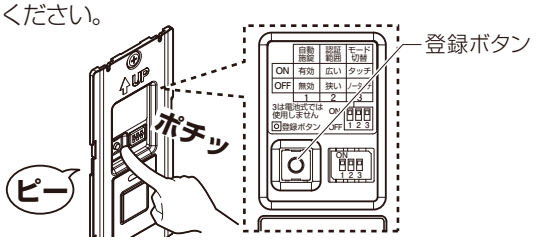


2室内側のリーダーから化粧プレートを外します。

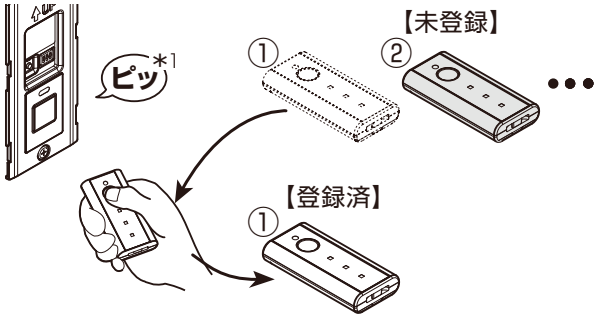


化粧プレートが落ちないように支えてください。
そのまま図の通りに下から押上げ、上へスライドさせてください。

『ピー』音が鳴るまでリーダーの登録ボタンを押します。
※『ピ』音が８回鳴る場合はドアを閉め、施錠してください。



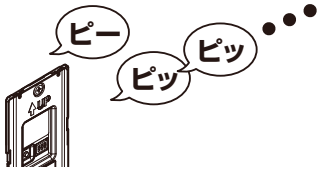
3 1個ずつリモコンキーのボタンを押し、登録します。



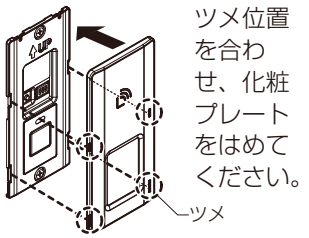
■お知らせ
・1台のドアにリモコンキーは最大10個まで登録できます。
・ドアを解錠するか、10個目のリモコンキーを登録するとすぐに登録終了(4)になります。
・１つのリモコンキーを複数のドアに登録する事が出来ます。（数の制限はありません。）

＊1）登録の都度、登録済み個数分だけ『ピ音』が鳴ります。
（ 例：1個目『ピッ』、2個目『ピッ、ピッ』）

4 30 秒ほど待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録個数分『ピッ』音が鳴ります。



化粧プレートを元に戻します。



ツメ位置を合わせ、化粧プレートをはめてください。

化粧プレートの周囲にスキマが無いように取付け、下にスライドさせてください。

■リモコンキーの電源 ON/OFF について

リモコンキーはボタン長押し（約 3 秒以上）で電源の ON/OFF ができます。
OFF にするとリモコンキーが使用できなくなります。しばらく使用しないときや玄関付近でリモコンキーを保管しなければならない場合は電源を OFF にしてください。

電源 ON
ランプが緑色に点灯（1 秒間）

電源が OFF → **ON** になりました

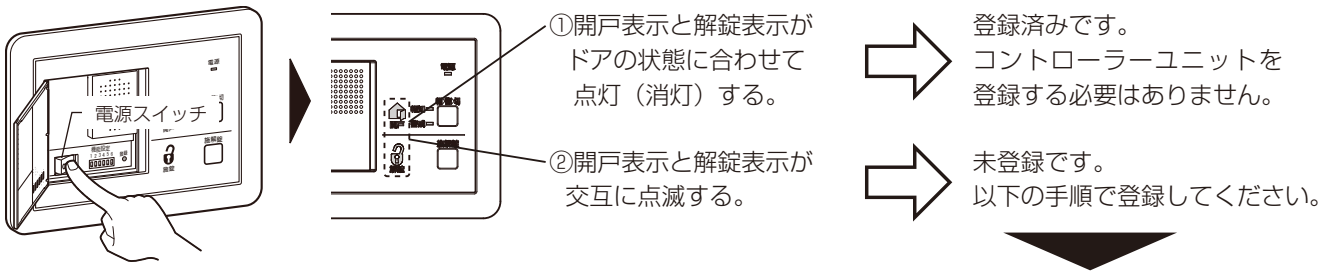
電源 OFF
ランプが緑色に点滅（5 回）

電源が ON → **OFF** になりました。

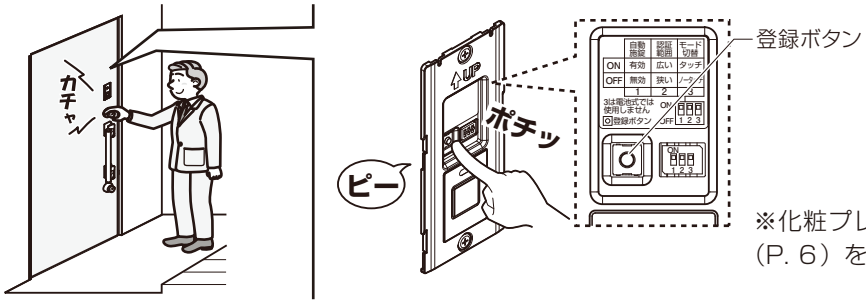
2 コントローラーユニットを登録する

次の手順でコントローラーユニットを登録し、シークレットスイッチがある場合は、続けて暗証番号を登録してください。暗証番号の登録方法については（P.12）を参照ください。
※コントローラーユニットが未登録の場合、表示が正しく点灯せず、コントローラーからの操作もできません。
※設置工事のときなど事前に登録している場合があります。

1コントローラーユニットの電源を入れます。
電源表示が点灯し、開戸表示と解錠表示がドアの状態に合わせて点灯（消灯）するか確認ください。
表示状態については、（P.13）を参照ください。

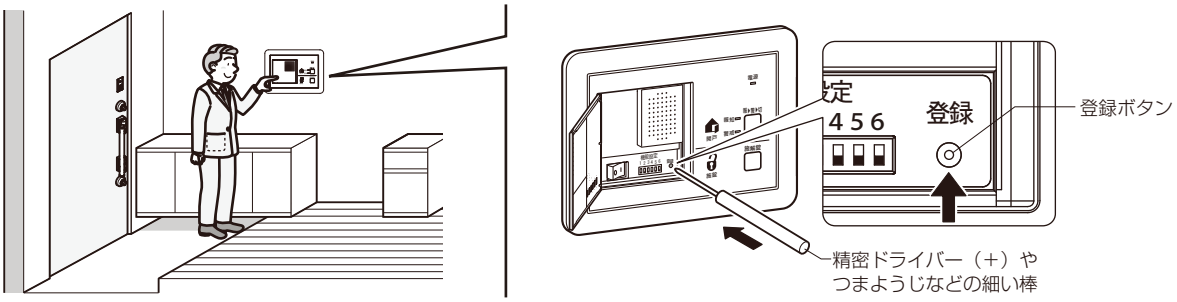


2ドアを閉め、施錠します。
次にリーダーの登録ボタンを『ピー』音が鳴るまで押します。

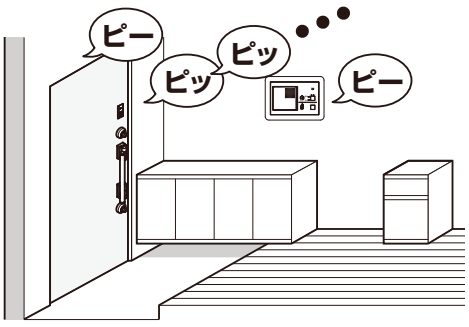


※化粧プレートの外し方は、
（P. 6）を参照ください。

3コントローラーユニットの登録ボタンを『ピッ』音が鳴るまで押します。
※ リーダーの登録ボタンを押してから 30 秒以内に押さないと時間切れで終了になります。



4玄関ドアとコントローラーユニットから『ピー』音が鳴り、登録が終了します。
※玄関ドアからは『ピー』音の後、リモコンキーの登録個数分『ピッ』音が鳴ります。



使い方

1 タッチボタンで解錠したい（タッチモード）

室内外とも操作方法は同じです。
ノータッチモードのときもタッチモードの操作は可能です。

リモコンを携帯し、タッチボタンを押します。

解錠します。

ドアを開けます。

自動施錠 ON の場合

閉まると自動施錠します。

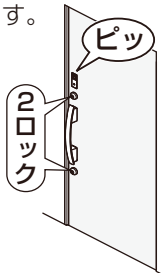
自動施錠 OFF の場合

閉まっても自動施錠しません。施錠してください。

ドアは閉めたまま

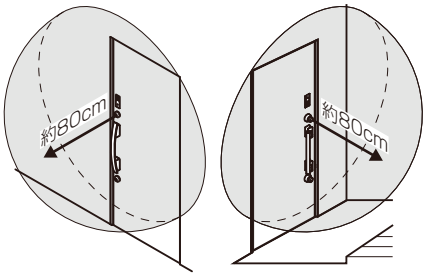
しめ忘れ防止機能

30 秒後に自動施錠します。



■認証範囲について

タッチボタンを押すと最大 5 秒間、認証モードになります。この間にリモコンキーが認証範囲内（約 80cm 以内）にあると施解錠します。



※周囲の電波環境や障害物の有無により認証範囲は変化します。この為、実際の認証範囲はきれいな球体では無く上記作動範囲も保証値ではありません。

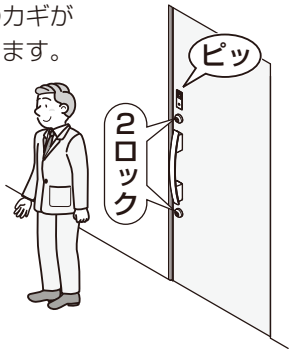
※ S 型ハンドルの場合、室外側リーダーはハンドルに内蔵されており、タッチボタン、LED もハンドルに付いています。

2 タッチボタンで施錠したい

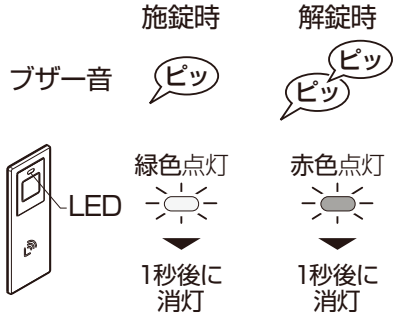
タッチモード・ノータッチモードともにご利用いただけます。

リモコンを携帯し、タッチボタンを押します。

2 つのカギが施錠します。



ドアの状態を LED と音でお知らせします。



3 ノータッチで解錠したい（ノータッチモード）

ノータッチモードでは、リモコンキーを携帯し、ドアに近づくだけでノーアクションで解錠する事ができます。認証範囲の境界付近では意図せず解錠するなどの誤動作が発生しますので下記、注意事項をご理解の上ご使用ください。※切替え方法は、（P.11）を参照ください。

解錠後の動作は、タッチボタンで解錠したときと同じです。

■ノータッチモードご使用時の注意事項について

①ノータッチによる施錠はできません。ノータッチモード時でもリーダーのタッチボタンやリモコンキーのボタンを押して操作できますのでそちらにて施錠してください

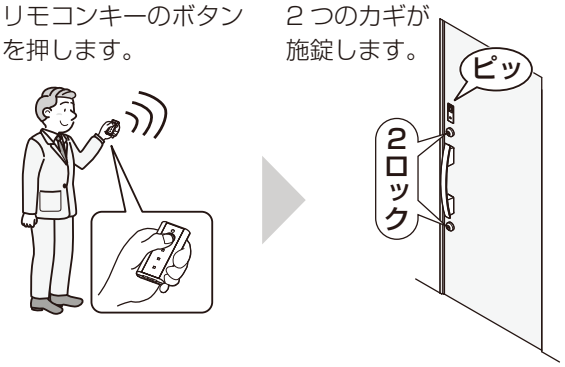
②認証範囲の境界付近にリモコンキーがあると意図せず解錠する場合があります。

③施錠後は、リモコンキーがドアの『認証範囲』から数秒間離れないとノータッチモードでは解錠できません。すぐに解錠したい場合は、タッチボタンを押して解錠してください。

4 リモコンキーで操作したい

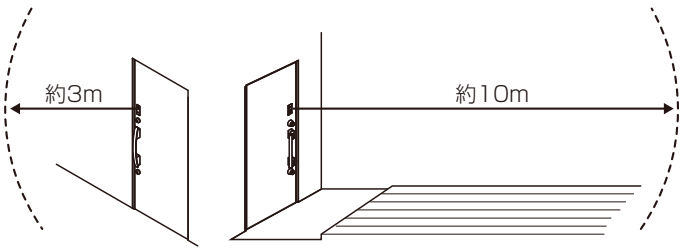
リモコンキーのボタンを押すことで離れたところからも施解錠することができます。
※解錠後の動作は、タッチボタンで解錠したときと同じです。

【例）施錠させる場合】



■作動範囲について

リモコンキーのボタンを押し、錠の操作ができる範囲（作動範囲）は、室外側と室内側で異なります。

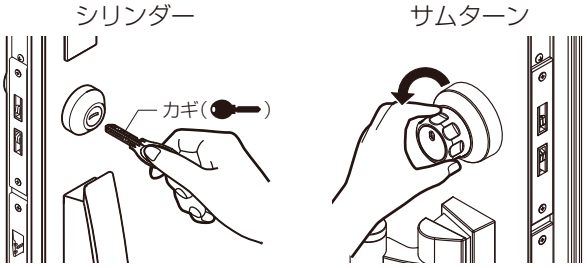


※周囲の電波環境や障害物の有無により作動範囲は大きく変化します。
この為、上記の作動範囲は保証値ではありません。

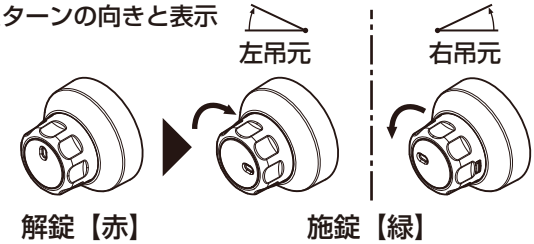
※リモコンキーボタンを繰り返し押すと、ボタンが効かず、ランプも点灯しない時がありますが、故障ではありません。
電波法の規定により 5 秒間連続で電波を発信した後は 2 秒間休止時間をもうける必要がある為です。

5 シリンダーやサムターンから操作したい

シリンダー、サムターンを手で回し施解錠できます。この場合、自動施錠の ON･OFF に関わらず自動施錠しません。※しめ忘れ防止機能も働きませんのでご注意ください。



■サムターンの向きと表示



※ キー付きリモコンの非常用キーを使う場合は、P.16 を参照してください。

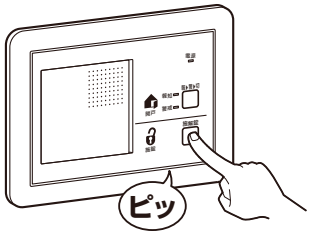
※ S 型ハンドルの場合は、シリンダーカバーを外してからシリンダーを手で回して施解錠します。
詳しくは、P.4 を参照ください。

6 コントローラーユニットなど室内から操作したい

コントローラーユニットや電気錠操作押ボタン（オプション品）の施解錠ボタンを押すことでタッチボタンを押したときと同様に施解錠することができます。

【例）コントローラーユニットから解錠させる場合】

コントローラーユニットの施解錠ボタンを押します。



解錠します。

解錠後の動作は、タッチボタンで解錠したときと同じです。

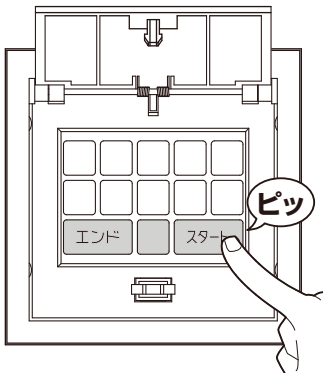
■そのほかのオプション品について

・電気錠対応ドアホン（オプション品）などからも操作することができます。この場合も解錠後はタッチボタンで解錠したときと同じ動作になります。 使い方は、それぞれの器機に付属の取扱い説明書をご確認ください。

7 シークレットスイッチから解錠したい

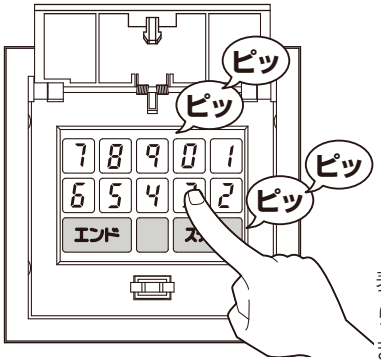
シークレットスイッチ（オプション品）に暗証番号を入力して解錠できます。
暗証番号の設定は P12「シークレットスイッチ暗証番号登録モード（スイッチ６）」を参照ください。

1スタートボタンを押します。



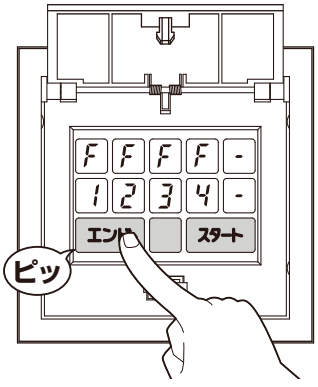
番号が点灯します。

2暗証番号（４ケタ）を入力します。



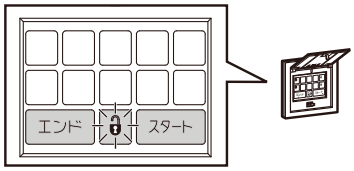
表示が数字からＦに変わります。

3エンドボタンを押します。

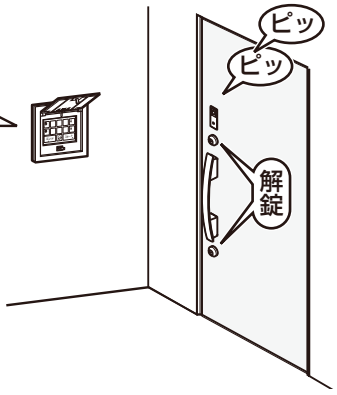


文字が消え『ピー音』が鳴ります。

4解錠します。



解錠中は解錠マークが点灯します。

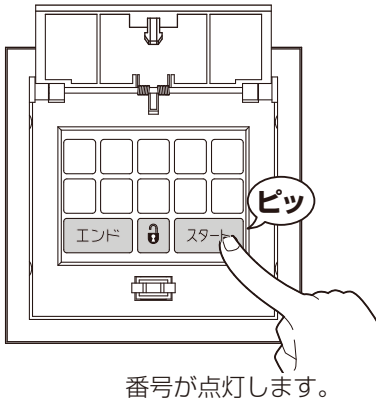


※解錠後の動作は、タッチボタンで解錠したときと同じです。

※暗証番号を間違えると約10秒間、入力ができなくなります。
※10秒以内に1スタートから3エンドまで入力しないと、時間切れ(終了)になります。

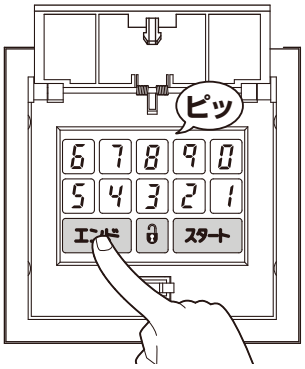
8 シークレットスイッチから施錠したい

スタートボタンを押します。



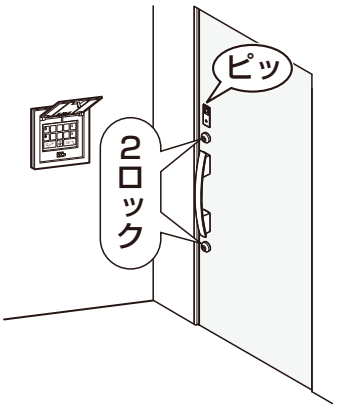
番号が点灯します。

エンドボタンを押します。

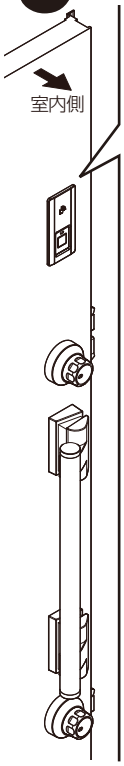


文字が消え『ピー音』が鳴ります。

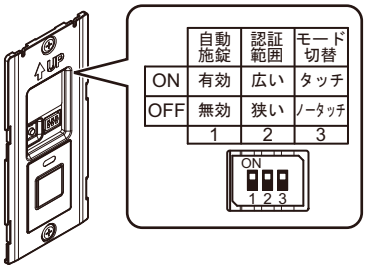
施錠します。



9 自動施錠の ON/OFF と認証範囲範囲の広い / 狭い、タッチ / ノータッチを切替えたい



■切替スイッチについて



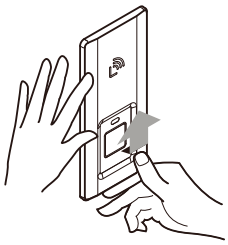
1. 自動施錠切替スイッチ
自動施錠の ON/OFF（有効 / 無効）を切替えます。

2. 認証範囲切替スイッチ
「狭い」にすると認証範囲が「広い」のときの約 70% になります。

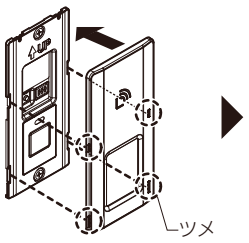
3. モード切替スイッチ
タッチモードとノータッチモードを切替えます。

■化粧プレートの付け方、外し方

1外し方
化粧プレートが落ちないように支えてください。そのまま図の通りに下から押上げ、上へスライドさせてください。



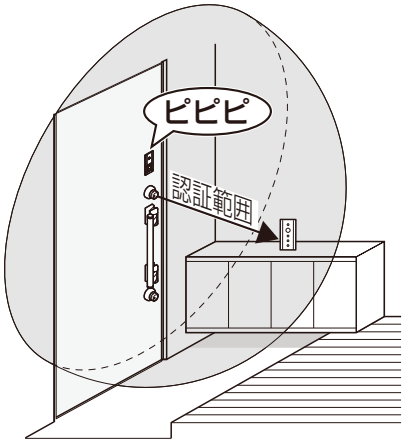
2付け方
ツメ位置を合わせ、化粧プレートをはめてください。



化粧プレートの周囲にスキマが無いように付け、下にスライドさせてください。

10 リモコンキー置忘れお知らせ機能について

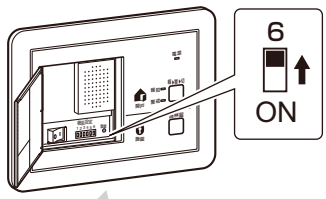
リモコンキーを認証範囲内に置き忘れた場合、約30秒後から4秒置きにドアから『ピピピ』音を鳴らして置き忘れていることをお伝えします。
※この機能は、ドアが閉まっているときのみ働きます。



コントローラーユニットの設定方法、使い方

シークレットスイッチ暗証番号登録モード（スイッチ６）

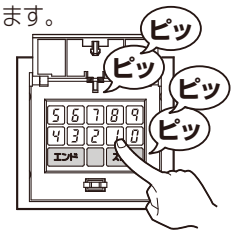
1「シークレットスイッチ暗証番号登録モードスイッチ」を**ON**にします。



2シークレットスイッチに登録したい暗証番号を入力します。

①スタートボタンを押し、番号を点灯させます。

②暗証番号（４ケタ）を入力します。



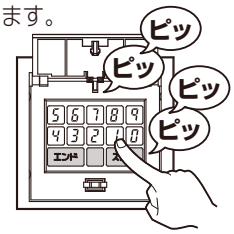
③番号表示が変わりましたらエンドボタンを押します。

ON にしている間、コントローラーユニットから『ピッ』音が１秒間隔で鳴り続けます。▷ **ピッ** ▷ **ピッ** ▷ **ピッ** ▷ **ピッ**

3同じ暗証番号を再度入力します。（2 回目）

①スタートボタンを押し、番号を点灯させます。

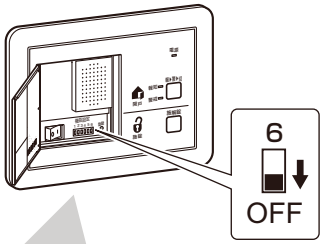
②暗証番号（４ケタ）を入力します。



③番号表示が変わりましたらエンドボタンを押します。

コントローラーユニットからも『ピー』音が鳴ります。

4「シークレットスイッチ暗証番号登録モードスイッチ」を**OFF**にします。



▷ **ピッ** ▷ **ピッ** ▷ **ピッ** ▷ **ピッ** ▷ **ピッ** ▷ **ピッ** ▷ **ピッ** ▷ **ピー** ▷ **ピッ**　**OFF** にすると『ピッ』音が鳴り止みます。

※報知・警戒設定中は登録モードになりません。報知・警戒設定を切ってから登録願います。→(P.13)

報知・警報音（スイッチ１）

報知音（ポロロン）と警報音（ピーポー）を止めることができます。

■音の有り / 無し切替方法

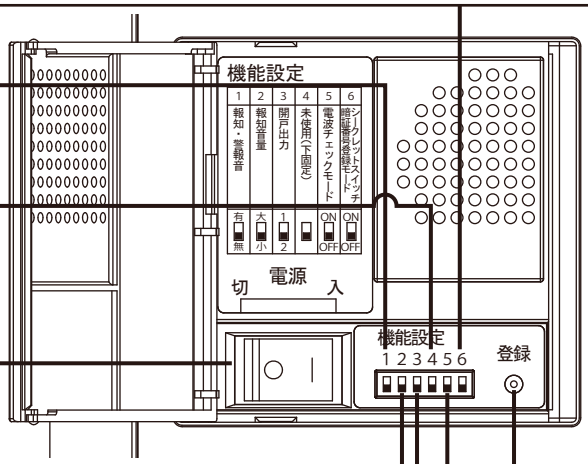
1 音が鳴りません。　1 音が鳴ります。

未使用（スイッチ４）

（使用しません。）

電源スイッチ

電源の入り、切りができます。



報知音量（スイッチ２）

報知音（ポロロン）の音量を大きくできます。（警報音は変わりません。）

■報知音量の調整

2 音量小　　2 音量大

開戸出力（スイッチ３）

ドアが開いたことを伝える信号を接続機器に出力します。(使用しません。)

■出力条件の違い

3 常に出力　　3 手動で解錠した時のみ

電波チェックモード（スイッチ５）

コントローラーユニットとドア間の電波通信が正しく行なえるか確認できます。メンテナンス時に使用します。

■電波チェックモードの使い方

・スイッチを ON にすると『ピッ』音が１秒間隔で鳴り続け、通信が成功した時に解錠表示が一瞬点灯します。

コントローラーユニット登録ボタン

コントローラーユニットの登録を行ないます。初回登録時のみ使用します。

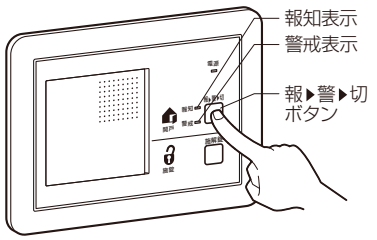
■登録の仕方

「コントローラーユニットを登録する」(P.7)を参照してください。

※スイッチ３～６は、下側（▮）で使用してください。

■報知、警戒設定と報▸警▸切ボタンについて

報▸警▸切ボタンを押すたびに報知設定と警戒設定、切を切替えることができます。

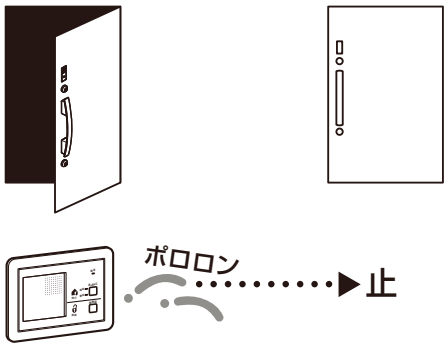


切	報知設定	警戒設定
報知 ▬	報知 緑色点灯	報知 ▬
警戒 ▬	警戒 ▬	警戒 赤色点灯

※報知設定と警戒設定を同時に利用することはできません。

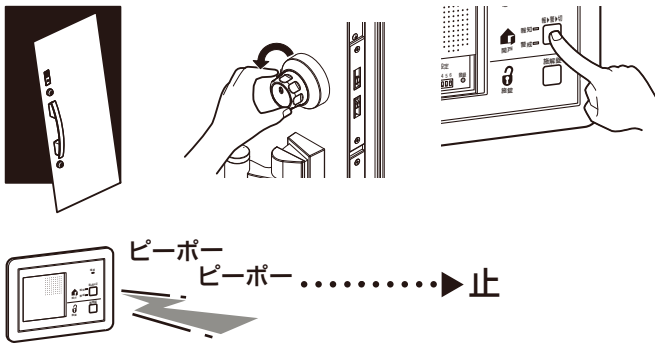
■報知設定

ドアを開けると報知音（ポロロン）が鳴ります。▶ドアが閉まると報知音が止まります。

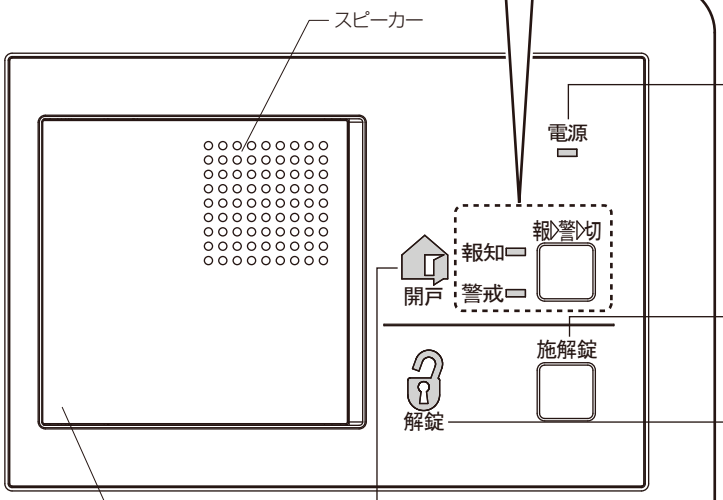


■警戒設定

こじ開けやカギ（ ）、サムターンで解錠すると警報音（ピーポー）が鳴り、警戒表示が点滅します。▶報▶警▶切ボタンを押すと警報音が止まります。



コントローラーユニット



電源表示

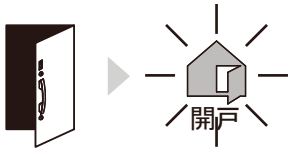
電源が入っている時に緑色で点灯します。

施解錠ボタン

錠の操作ができます。

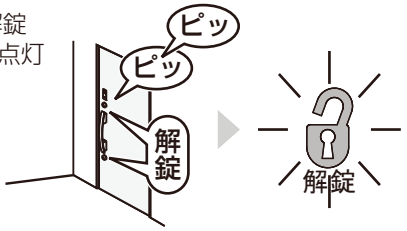
開戸表示

ドアが開いている時に赤色で点灯します。



解錠表示

錠が上下２つとも解錠している時に赤色で点灯します。

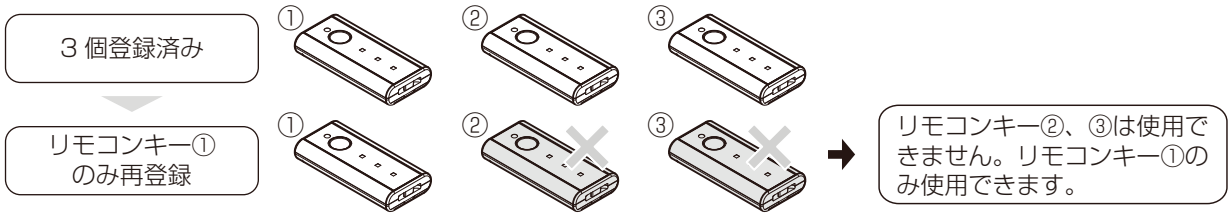


リモコンキーの登録抹消と追加

1 登録データを抹消したい

登録を抹消したいリモコンキー以外で再登録してください。（登録方法は、P.6「リモコンキーを登録する」を参照ください）
新たに 1 個でも登録するとそれまでの登録データはすべて消去されます。
※登録ボタンを押して、リモコンキーを登録せず終了になった場合は、元の登録状態のままです。
　登録データを全て抹消し、登録個数をゼロにする事はは出来ません。

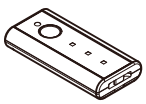
（例）リモコンキー 3 個がすでに登録済みの場合



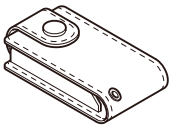
2 リモコンキーを追加したい

別売部品の追加用リモコンキーをご購入いただくことで最大 10 個まで登録し使用できます。またカギ（ ）とリモコンキーを一緒に収納できるリモコンキー収納ケースもあります。

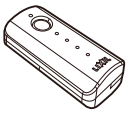
別売部品



追加用リモコンキー
《商品コード》
Z-221-DVBA



リモコンキー収納ケース
《商品コード》
Z-231-DVBA



キー付きリモコン（本体）
《商品コード》
Z-241-DVBA

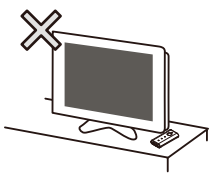
※本収納ケースに、キー付きリモコンは収納できません。
※キー付きリモコンに非常用キーは同梱されません。

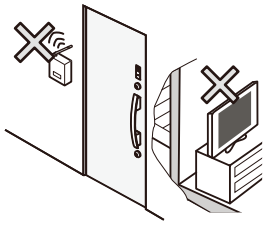
別売部品は、ご購入の販売店もしくは、LIXIL パーツショップにてご購入いただけます。
http://partsshop.lixil.co.jp/shop/

非常用キー（キー付きリモコン専用品）
※非常用キーは、合鍵（スペアキー）として LIXIL パーツショップからご購入いただけます。
なお、パソコンがご使用になれない場合は、当社お客様相談センターへご相談ください。

3 リモコンキー取扱い上のお願い事項について

●テレビやパソコンなど電磁波を発する機器の近くには置かないでください。電池寿命が短くなります。
●リモコンキーが利用できない場合がありますので次の内容についてご注意ください。
・玄関ドアの近くにパソコンやテレビなど電波ノイズを出す機器や無線通信式の電化製品がある場合。
・住居の近くに無線局や工場など強い電波やノイズを出す設備がある場合。
・無線通信機器（携帯電話、無線機など）と一緒にリモコンキーを携帯した場合。
・リモコンキーを金属ケースなど電波が通り難い材質でおおった状態の場合。





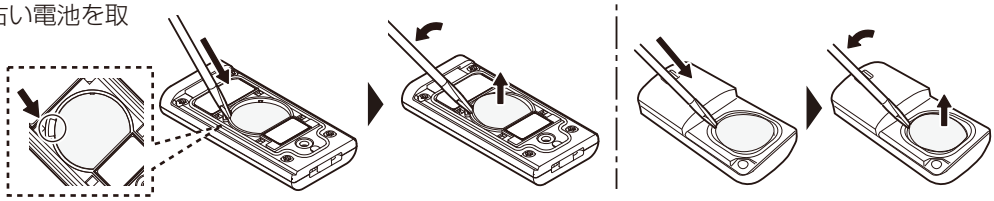
リモコンキーの電池交換について

1 リモコンキーの電池を交換したい

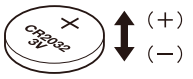
リモコンキーの場合　　キー付きリモコンの場合

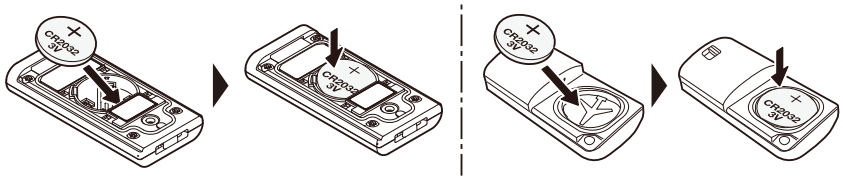
1ねじをゆるめてカバーを外します。
※柄(握り部)が太いドライバーをご利用ください。
※スリットに爪やマイナスドライバーを差込みカバーを外してください。

2マイナスドライバーで古い電池を取出します。
※1箇所へこんだ部分にマイナスドライバーを差込み、電池を持上げてください。



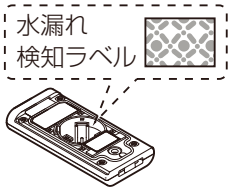
3新しい電池を入れます。
■使用電池
・コイン型　リチウム電池
CR2032





4カバーを閉じ、ねじを締めます。
※ツメをひっかけてからカバーを閉じてください。

■電池交換時のお願い
・リモコンの内部や電池に水や汚れを付着させないでください。接触不良の原因になります。また、水濡れ検知ラベルが反応し、保証を受けられなくなるおそれがあります。
・内部基板やゴムパッキンは触らないでください。防水性能が大きく低下するなど故障の原因になります。



2 リモコンキーの電池交換時期を知りたい

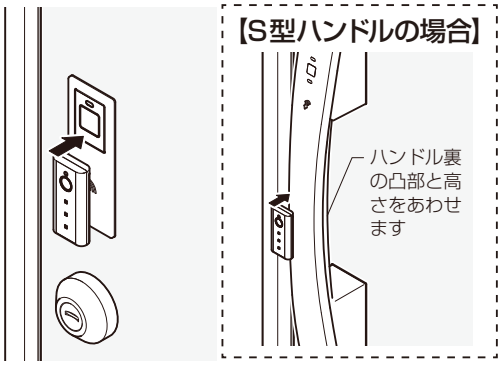
リモコンキーのボタンを押して離したときに通常は、ランプが赤色に1回点灯しますが3回点滅した場合は電池の交換時期をお知らせしています。※同梱の電池は動作確認用の為、寿命が短い場合があります。

3 リモコンキーの電池が切れたときは

リモコンキーの電池が切れるとタッチボタンやリモコンキーのボタン操作はできませんが密着認証モードにより室外側からのみ施解錠することができます。
※解錠後の動作は、タッチボタンで解錠したときと同じです。

タッチボタンを2回目の『ピッ』音が鳴るまでを長押し(約1秒間)します。

リモコンキーを下図の通り、リーダーに密着させます。



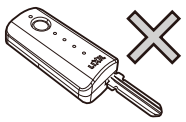
解錠します

キー付きリモコンの使い方

キー付きリモコンは、専用の非常用キーを収納してご利用ください。
停電時、故障時などの万が一のとき、非常用キーが必要になります。

収納するときは、カチッと鳴るまで差し込みます。
取り出すときは、リリースツマミをスライドさせて取り出します。

非常用キーは逆向きに差して使用しないでください。
リモコンのケースが破損する恐れがあります。

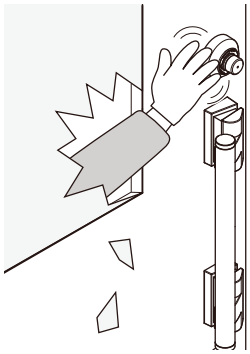


防犯機能について知りたい

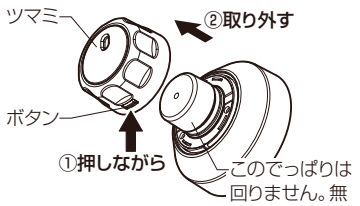
■不正解錠防止機能

1つめのカギが不正に開けられても 20 秒以内に2つめのカギを開けなければ自動的にカギが再ロックされ不正解錠を防止します。
※この機能は正しい操作のときも働きます。2つめのカギは２０秒以内に解錠してください。

■セキュリティサムターン



ツマミの取り外しは、ボタンを押しながら行ってください。



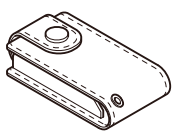
サムターンのツマミを取外せますので、外出時に 2 個とも外しておけば、ガラス破りなどによる不正な操作を防げます。
※外したツマミは保管場所を決め、ご使用する方全員が分かるようにしてください。

お手入れ方法

①表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
②水で濡らし、固く絞った柔らかい布、又はスポンジで全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液を布、又はスポンジに付け汚れを落とし、そのあと水拭きします。

■お願い
・ドアを水洗いするなど、機器に水がかかるような清掃はおやめください。
機器内部に水が入り故障するおそれがあります。
・洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、有機溶剤は、塗膜はがれを引き起こしますので、使用しないでください。

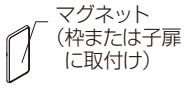
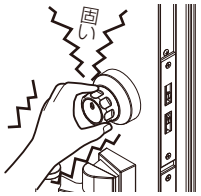
■リモコンキー収納ケース（別売品）のご注意
・リモコンキー収納ケースは牛革製品となります。普段のお手入れの際は乾拭きを行い、汚れが目立つ場合は皮革用クリーナーをお使いください。また、色移りとカビを防ぐ為、強く擦ることや水濡れ、湿気を避けてください。



こまったときには

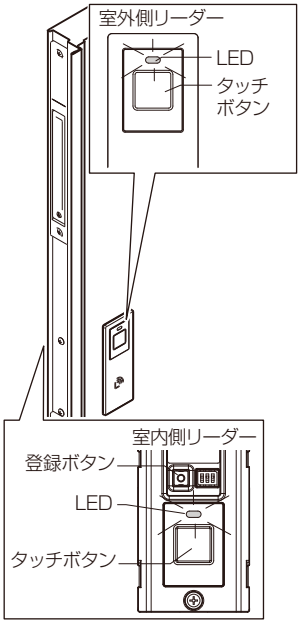
1 故障かな?と思ったら

まずは、次の内容をご確認ください。それでも問題が解決できない場合はお客さま相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認してください。
誤作動する。	勝手に解錠した。	次の2点が考えられますので保管中のリモコンキー全てをご確認ください。設置環境によっては、比較的離れた所からも操作できる場合があります。 ①意図せずリモコンキーのボタンが押され解錠した。→（P.9） ②ノータッチモードの場合はリモコンキーが玄関ドア付近にあり、一時的に反応し、解錠した。→（P.9）
リモコンキーが登録できない。	ピ音が 8 回鳴った。	・ドアが開いているか、施錠されていません。ドアを閉め、施錠してから登録ボタンを押してください。 ・マグネットが取付けされていません。 詳しくは取付け説明書をご確認ください。 
シークレットスイッチが登録できない。	報知または警戒設定になっている。	報知または警戒設定中は登録できません。報知／警戒設定を切ってから登録しなおしてください。→（P.12、P.13）
錠（デッドボルト）が出たままになる。	施錠動作中にドアを開けた。	ドアを開けると電動サムターンが停止し、錠（デッドボルト）が出たまま止まることがあります。電動サムターン動作中は、サムターンに触れたりドアを開けたりしないでください。
サムターンやカギを手で回すと固い。  	動作中のサムターンに触れたり、ドアを開けた。	サムターンを保護するクラッチ機能が一時的に働いた為で故障ではありません。通常より固いですがサムターンやカギを回すこともできます。リモコンキーで操作すると元に戻ります。
	錠（デッドボルト）がストライクに接触している。	ストライクを調整し、解消することができます。『お施主様用保存版 取扱い説明書』の建付け調整の項目をご確認ください。
ノータッチモードが使えない時がある。	施錠後、しばらくノータッチモードが使えなかった。	施錠時に認証範囲内にあったリモコンキーは、ドアから数秒間離れないとノータッチモードが使用できません。すぐに解錠したい場合はタッチボタンで解錠してください。
シークレットスイッチから解錠できない。	暗証番号を入力しても動かない。	暗証番号の登録が正しく行なわれていません。「シークレットスイッチ暗証番号登録モード」の説明を参考に再登録してください。 →（P.12）
施錠できない。	ピ音が 5 回鳴った。	ドアが開いています。閉じてから操作してください。
施錠も解錠もできない。	リモコンキーのボタンを押してもランプが点かない。	・リモコンキーの電池が切れました。新しい電池に交換してください。→（P.15） ・電源が OFF になっています。ボタンの長押しにて電源を ON にしてください。→（P.6）
	タッチボタンを押したあと、LED が橙色で点滅する。	リモコンキーが登録されていません。 使いたいリモコンキーを全て登録してください。→（P.6）
	リモコンキーのボタンを繰り返し押すと、ボタンが効かない時がある。	リモコンキーのボタンを繰り返し押し、電波が連続して 5 秒間発信されると、電波法の制約により、2 秒間の休止時間に入ります。この休止時間中は、ボタンを押しても動作せず、リモコンのランプも点灯しません。

2 ドアのブザー音と LED 表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ	緑色で点滅（5 秒間）	施錠中にタッチボタンが押されました。
	赤色で点滅（5 秒間）	解錠中にタッチボタンが押されました。
	緑色で点灯（1 秒間）	施錠出来ました。
ピッピッ	赤色で点灯（1 秒間）	解錠出来ました。
ピピピ（4秒間隔で繰り返し）	消灯	認証範囲内にリモコンキーを置き忘れています。(30 秒以上)
ピッ、、、、ピッ	緑(赤)色で点滅	タッチボタン長押しにより密着認証モードに入りました。
ピー	緑→赤色で交互に点灯繰り返し	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯→消灯	登録モードが終わりました。

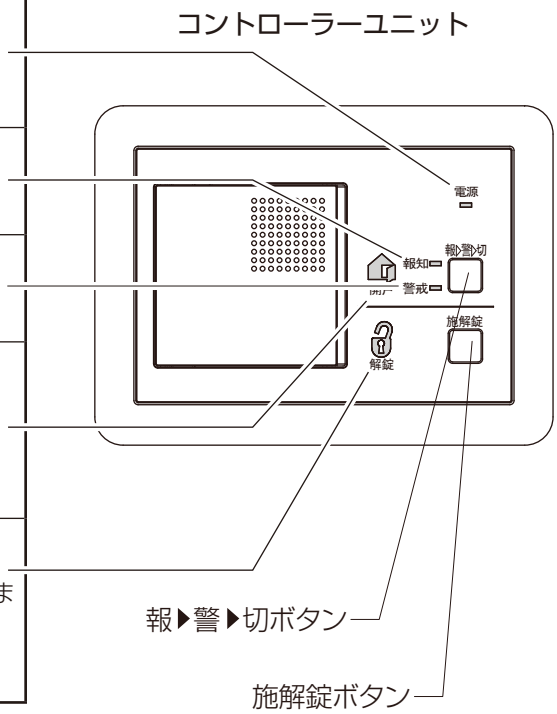


ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ	橙色で点滅（1 秒間）	・ドアが開いています。 ・電動サムターン動作途中でドアが開けられました。	・ドアを閉じてください。 ・手動でサムターンを回し解錠にしてからドアを閉じてください。
ピピピピピピピピ（8 回）	消灯のまま	・ドアが開いている、もしくは施錠されていない為、登録できません。	・登録時はドアを閉め、施錠してください。
ピピ × 8	橙色で点滅（ピ音が鳴っている間）	・上の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	・ドアが確実に閉まっていることを確認し再度リモコンキーで動かしてください。それでも同様のブザー音が鳴る場合は、建付け調整を行なってください。 →(お施主様用保存版取扱い説明書)
ピピピ × 6		・下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3		・上下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピーピ × 4 ピーピピ × 4 ピーピピピ × 4	橙色で点灯（5 分間）	・機器にエラーがありました。	お客さま相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。→（P.21）
—	橙色で点滅（5 秒間）	・リモコンキーが登録されていません。 リモコンキーが 1 度も登録されていない状態では、自動施錠しません。	リモコンキーの登録を行なってください。→（P.6）

※ S 型ハンドルの場合は、リーダーがハンドルに内蔵されており、一部形状が異なりますが、ブザー音や LED 表示内容は変わりません。（S 型ハンドルの詳細は P.4 を参照ください。）

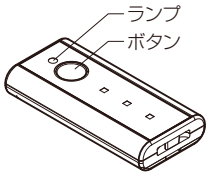
3 コントローラーユニットのブザー音と LED 表示について

表示内容	お知らせ内容
電源表示が緑色で点灯 電源	電源が入ってます。
報知表示が緑色で点灯 報知	報知設定になっています。
警戒表示が赤色で点灯 警戒	警戒設定になっています。
開戸表示が赤色で点灯 開戸	ドアが開いています。
解錠表示が赤色で点灯 解錠	カギが上下 2 つとも解錠しています。

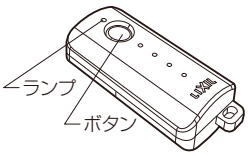


ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、・・・・・・・		・暗証番号登録モード中です。 ・電波チェックモード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロロン、ポロロン・・・	報知表示が緑色で点灯中に開戸表示が赤色の点灯 開戸 報知	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピーポー、ピーポー・・・	警戒表示が赤色で点滅 警戒	こじ開けもしくは、サムターン、キー（ ）で解錠されました。	報▸警▸切ボタンを押して止めてください。
ピーピッピッピ、 ピーピッピッピ・・・	開戸と解錠表示が赤色で同時に点滅 開戸 開戸 開戸 解錠 解錠 解錠	ドア本体と枠の間（丁番側）に異物が挟まっています。	異物を取除いてください。

4 リモコンキーのランプ表示



※キー付き
リモコンの場合



ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法
赤色で点灯 ☼	ボタンが押され、操作信号が発信されました。	
緑色で５回点滅 ☼●☼●…	ボタンが長押しされ、電源がOFFになりました。	
緑色で点灯（1 秒間） ☼⟶	ボタンが長押しされ、電源がONになりました。	
赤色で３回点滅 ☼●☼●☼	電池容量が残りわずかになりました。	電池（CR2032）を新品に交換してください。
赤色で点灯し続ける ☼——⟶	リモコンキーに異常があります。	お客さま相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。→（P.21）

商品仕様

■コントローラーユニット

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約10W 待機時：約6.5W
出力電圧	DC52V[送電ユニット（ドア枠取付け部品）へ供給]
出力周波数	426MHz
電界強度	70dBμV/m（参考値）
無線局の種別	特定小電力無線
音量	報知音（大）：約73dB（前方1m）
	警報音：約78dB（前方1m）
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	-20～60℃

■ドア側

入力電源仕様	DC5.5V[受電ユニット（ドア吊元取付け部品）から制御ユニットへ供給]
出力周波数	426MHz ／ 135.5kHz
電界強度	70dBμV/m ／ 118dBμV/m（参考値）
無線局の種別	特定小電力無線／誘導式無線設備
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	-20～60℃
リモコンキー登録数	最大 10個

■リモコンキー、キー付きリモコン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032
電池寿命	約 1年（常温20℃ 操作：10回/日 ）
出力周波数	426MHz
電界強度	63dBμV/m（参考値）
無線局の種別	特定小電力無線
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	-20～60℃

アフターメンテナンスについて

修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱い説明書の**「■こまったときには」**をご確認ください。

保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので**「■商品保証について」**の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、 販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

①ご住所・お名前・電話番号
②商品名・品番
③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
④故障又は異常の内容
⑤訪問ご希望日
⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

・お求めの取扱い店
・製品に表示している連絡先
・LIXIL修理受付センター　0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後2年としております。2年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし2年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ　**http://partsshop.lixil.co.jp/shop/**

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター　**0120-126-001**にご連絡ください。

2014年9月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ 対象商品　サッシ・ドア商品

■ 保証期間　施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）

注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容　取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。

不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項　保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）

②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
（例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など）

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など）

⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど）

⑧天災その他の不可抗力
（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合）

⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

MEMO

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL.0120-126-001　FAX.03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL.0120-413-433　FAX.0120-413-436

http://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意
ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について
当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

LIXIL
Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、
豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

http://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAM-702B	事業所コード AZF8	2015.02.01 発行

MAM702B